

【育成光線農法と育成光線水生成器・気施気の総合マニュアル】

(株)エコ・サッポロ

<表紙 index>

環境配慮型『育成光線農法』についての基本の考え方、実践方法 又、『気施気』の使い方を、手引書として各分野に分けて解説しております。ご使用される前に是非お読み下さい。

<項目>

p.1～15（表紙含 9 枚）

1. 育成光線農法とは・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (1)
2. 育成光線水生成器・気施気の活用手引き書 (You Tube マイナビ記事)・・・(2～5)
- 3 育成光線水生成器の機能とマイナスイオン増加 (You Tube)・・・・・・・・ (6.7)
4. 育成光線放射装置（気施気）の原理と効果・・・・・・・・・・・・ (8～11)
5. 気施気は農家の皆さんを生産の原点から応援します・・・・・・・・ (12.13)
6. 育成光線水生成器・気施気取扱説明書と価格表・・・・・・・・・・・・ (14.15)

* 文章内に同様や類似の内容部分がございます。ご了承いただけますようお願い致します。

* ご質問やお問合せがございましたら、弊社 HP からお名前、連絡先などをご記入の上、専用メールにて送信願います。当社 HP www.eco-sapporo.co.jp をご覧下さい、

1.【育成光線農法】とは

(株)エコ・サッポロ

育成光線放射装置・気施氣を使用して作物を生産することを『育成光線農法』と呼ぶことにしましたので、その要点を作業手順としてまとめました。

A 種子の DNA を活性化させる作業

育成光線放射装置を通ると水は瞬時に水は 0,276nm という極微小な水分子になります。又、同時に一秒間に 100 兆回という超微細な振動エネルギー体になります。この水分子は植物の細胞膜を通過し、DNA を活性化させ作物を元気に育てることが出来ることが判りました。

その使い方は以下の通りです

育成光線放射装置を使って容器に育成光線水（**気施氣水**）を貯め、その水に種を 120 分程度浸漬（袋ごと可！）することで、タネは自然と活性化されます。

最近のように地球環境が不安定な時代には極めて重要な作業と考えています。

この簡単な作業をするだけで作物を安定的に栽培することが可能になります。それが故に、全ての作物に必ずこの作業をやりましょう（育苗箱で苗作りの時も同様です）。尚、この方法は家庭菜園から大農場に至るまで同じです！！

B 播種、定植後の処理について

- ① 発芽後は、時おり散水してください。（最低 1 回はすること）
- ② 定植した作物には、定植後に必ず散水してください。散水しておくことで土壌がマイナスイオンの環境になることで、病虫害の予防効果があります。尚、やむをえず農薬を使用する時は育成光線水（**気施氣水**）で希釈することで、低農薬栽培が可能です。

まとめとして

この育成光線農法とは、装置から放射される 4～14 ミクロン領域の育成光線が、作物の DNA を活性化させ、細胞を元気にする、結果として作物の生育を助け、品質の向上を可能にします。また育成光線水（**気施氣水**）は極微細な水分子になるために、マイナスイオンを帯電したマイナスイオン水となります。このマイナスイオン水はプラスイオンを帯電して生きている病虫害が生息できない環境にすることと同時に、土壌中の有効微生物が活性化することで、健全で高品質な作物が出来ます。以上の事柄から

この農法を 【育成光線農法】 と命名致しました！

2.【育成光線水生成器・氣施氣 の活用手引き書】

<概要>

分子振動活生装置“氣施氣”の機能は、太陽光から放射されている遠赤外線の中で4～14 μ 領域の波長を特に育成光線と呼ばれております。この4～14 μ の領域の波長を集中的に、永久的に放射されるように開発されたものが氣施氣です。

育成光線と呼ばれているこの波長は、正に読んで字の如しで、動植物にとっては大変重要な波長で、この育成光線のおかげで、生命が維持されていると言われています。

又、この地球は水の惑星と言われている通りで、我々人間をはじめ、あらゆる生物は水が無くては、生きてゆくことが出来ないことはご承知の通りです。

さて、分子振動活性装置・“氣施氣”からの育成光線波（エネルギー）を水に作用（転写）しますと、水の分子は瞬時に構造変化と同時に超活性化されます。当社ではこの水を育成光線水と呼んでおります。

この氣施氣の用途は無限ですが、使い方はとても簡単です。固定して使いたい場合は、水道管に挟み込むだけです。又、移動しながら使いたい場合は、氣施氣にホースを差し込で、持ち歩きながらでも育成光線水を散水することが出来ます。いずれの方法でも、水は瞬時にエネルギー化され育成光線水となります。従って、何時でも、どこでも、誰でも簡単に取扱うことが出来る装置です。

次に具体的な作業方法（手順）についてご説明します。

○育苗・直播の場合

第一に、育成光線水を使って、必要な種子を活性化させます。

まず、育成光線水（氣施氣水）を容器（バケツやタライなど）に入れて下さい。

次に、その中に袋ごと種子を入れる（浮かべる）、そのままの状態です。1～2時間程経つと、種は育成光線エネルギーを受け、活性化されます。（ここが一番重要な作業です！）

その後、苗床へ播種して下さい。

直播きはそのまま畑に播いて下さい。これだけの事です。良い作物を作るには大切な作業です。必ず実行して下さい。（○葉物野菜も同様）

発芽後は育成光線水・氣施氣水を必要に応じて散水するだけです。

○稲作の場合

育成光線水で種籾の浸漬作業を行って下さい。時間は前述の通りです。その後の苗代にも育成光線水を散水して下さい。特筆すべきは、この作業をすると、収穫後アミノ酪酸（ギャバ）が大幅に増加することが判っております。正に機能米の誕生です。

それぞれの作物に以上の様な作業を行う事で、人体には有害物質と言われている硝酸態窒素が大幅減少します。また、結果として病虫害被害も少なくなります。品質向上と同時に、低農薬、無農薬栽培も可能になり、安全・安心の作物が出来上がります。

○果物栽培についてご説明します

果物類は永年作物のため、作業的には育成光線水の散水や散布作業が主になります。基本的には薬剤の希釈水に育成光線水を使うことになります。殺菌と同時に樹を活性させます。散水の時期としては、新芽が出始める頃から育成光線水を散布して下さい。育成光線水はマイナスイオン水になっているので、圃場全体に散水することで、土壌のイオンバランスが良くなり、結果として病虫害の発生を抑えることになります。

マイナスイオンの多い水は、病虫害の不活化や、除菌力がありますので（検査機関に於て検証済み）、長い期間に亘り育成光線水を散布する事で、自然と作物が育成光線エネルギーを受け、次第に活力を帯びて元気に成長します。その結果として品質の良い果物が生産されるようになってきます。又、収穫量は自ずと安定してきます。

○マメ科作物の場合

根粒菌が活発になり、収穫量が大幅に増えることが報告されています。

過去の事例を挙げましたが、以上が**氣施氣**からの育成光線水の効力と効果です。

以上が作物全体に対する**氣施氣水**を利用した場合の説明でした。

○次に養鶏・養豚について**氣施氣**の利用と効果についてご説明します。

まずは近年、鳥インフルエンザが大流行している事についてです。今年の春頃は全国的に鳥インフルエンザが流行し、沢山の養鶏場で被害が発生しました。国を挙げての対策に迫られたことは記憶に新しいところです。

最大の原因は、何といっても地球環境の悪化が挙げられます。しかしながら、鳥インフルエンザやその他についてもこれといった予防手段がないままになっています。何か有効な予防手段がないのでしょうか？

養豚の場合、豚舎に **氣施氣** を設置する（常時、育成光線水を与える）ことで、出荷迄の生育日数が早まります。又、母豚の出産が安定し、育成率が向上します。（生産性の向上）枝肉も大変美味しく（脂肪分が細かく均等）、冷めても食感がよく、美味さバランスに優れた豚肉の生産が可能です。（養牛も同様）

最近になり、某企業さんから次の様な発表文がありました。その内容は、「ゴキブリをはじめ、ダニ、白アリ、蚊に至るまで、多くの病虫害類はプラスイオン状態の環境でしか生き

られない。マイナスイオン状態の環境では、活動を停止してしまうか、死んでしまう」と書かれていました。

そんなある日、親交のあるスーパーマーケットの会長さんが遊びに来られた際、開口一番『お陰であれを取付けてから(氣施氣の意味)全店で、ゴキブリが全く出なくなったよ!!』(都内6店舗あります)

私には寝耳に水の話でしたが、某企業の発表内容と全く同じ様の現象が、身近に起きていた訳です。(育成光線水はマイナスイオン水です)

話に驚いたと同時に、瞬間的に氣施氣からの育成光線水を常時使えるような鶏舎であれば、鳥インフルの感染予防に繋がるのではないか!! と思う次第です。

氣施氣の持つ、新たな機能効果の確認と更なる効果の期待が高まった瞬間でした。

鳥インフルエンザやその他の病気について、プラスイオン環境か、マイナスイオン環境か?などの議論を聞いた事ありませんし、議論した事ありませんでした。この事柄は今後の病虫害防除対策への大きなヒントになる気がします。

氣施氣が生み出す育成光線水は、マイナスイオン水になっておりますので、病虫害対策にも効果があると考えております。減農薬栽培や無農薬栽培も可能だと考えております。

因みに、育成光線水は作物に有用な菌や微生物群類は活発になり、作物の成長を助けます。例えば、線虫がいなくなり、同時に放線菌が活発に活動します。

最後に、育成光線水・氣施氣で栽培、生育させた作物は、間違いなく食味が良くなります。蔬菜類においては、発がん性物質と言われている硝酸態窒素が大幅に減少する結果も出ております。

正に安全、安心作物作りが出来るということです。そして保存性(日持ち)が大変良くなります。これは細胞内の保水力が各段に高くなっているからです。(作物に限らず動物の細胞も同じです)この現象は他に類を見ない効果であり、素晴らしい特徴です。

結論として、“氣施氣”の特徴は100%の効果を発揮してくれる超活水装置であり、その仕組みは他に類のない最先端技術です。

大いに期待して、皆様のご利用とご活躍を願う次第であります。(完)

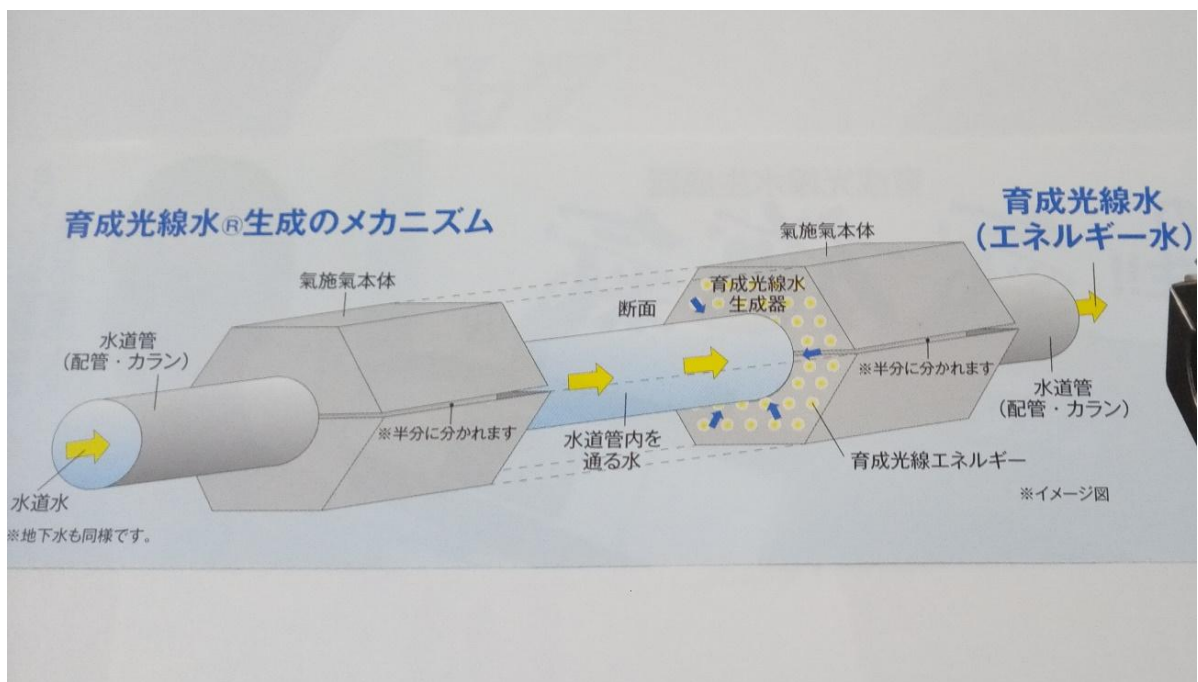
追記

最高なことは、一切の事実は既に理論であることを理解することであろう。

現象の背後にものを求めようとするな。現象そのものが学理なのだ。(ゲーテ)

<使用要領>

1. 配管、カラン、ホースなどの外側に挟み込むだけ（水には全く触れない）
2. ランニングコスト 0 円（電気・ガスなどの他エネルギーは一切必要ありません）
3. 取付け・取外し簡単 持ち運び可能（どなたでも出来ます。飛行機内可）
4. 半永久（S U S 304 仕上げ）、安全確認済
5. 商標登録済（2 件）
6. 日本製



気施気のメカニズム

<参考動画>

* YouTube 【水で生育は変わる！】 明らかに違いがみられる

<マイナビ農業・取材記事> 水を変えれば農業も変わる！

令和 6 年 11 月

株式会社エコ・サッポロ

代表取締役 高橋 優

3.【育成光線水生成器・氣施氣の機能とマイナスイオン増加】

(株)エコ・サッポロ

氣施氣 は遠赤外線の中の 4～14 ミクロン領域の波長(育成光線)を放射する装置です。

地球上の生物はこの育成光線によって生命が維持されていると云われております。又、全ての生物は水がなくては生きて行けません。水は地球上生物全ての原点です。

この装置、**氣施氣**は水を瞬時に機能化させます。その結果、農業面で減(無)農薬栽培を可能にし、作物の生育促進、品質向上、生産性向上はもとより作物の旨味(食味)レベルの数段アップ等多々良い効果が確認されており、これが正しく**氣施氣**本来の機能です。

話は替わりますが、最近次の様なことが話題となり、現在研究を進めているところです。それは某企業が、『マイナスイオンは救世主！マイナスイオンはダニも白アリも寄せ付けない云々…、マイナスイオンが周りがあると死んでしまう。』とコメントした事です。

このコメントに、当方の考え方や理論を以下の内容で説明させていただきます。

即ち、マイナスイオンを沢山発生させること事が可能ならば、病虫害は寄り付かなくなるか、先で死滅する(不活化)。更にはマイナスイオン水が防除対策として効果があるので、は！と考えるのは当然の事です。そこで弊社製造の育成光線水生成器・**氣施氣(水)**が登場し、これらを簡単に可能にしてくれます！！

大半の病虫害はプラスイオンを帯電して生きています。そこにマイナスイオン水を散水すれば、しぜんに生存し難い環境が起き、自ずと害虫類は淘汰されることになる訳です。

又、育成光線水・**氣施氣(水)**で育苗をすると、硝酸態窒素の少ない作物になっているの

で、この面からも害虫は寄り付かなくなります。 以上の様な結果から、減農薬栽培、無農薬栽培が可能になります。

次に水が育成光線水生成器・**氣施氣** を通過するとなぜ高いマイナスイオンが発生するのか？ その原理は次の通りです。

氣施氣 からの育成光線を受けた水は、瞬時に 0.3 ナノ(nm)レベルの超微細化された水に変化します。 その為この超微細化された水はマイナスイオンを帯電し、ごく自然にマイナスイオン水が出来ることになる訳です。 *ナノメートル(nm)は 10 億分の 1m

この様な優れた機能を持つ水装置はどこにも存在しません。唯一無二の**活水装置**です。 それこそが育成光線水生成器・**氣施氣** であります。

世にこの**氣施氣** が大活躍する日が近いことを念じて普及活動に邁進する毎日です。

<追記>

過去の事例を調べて考察すると、驚くべきマイナスイオンの力が解って来ました。それは、マイナスイオン水が病害虫の防除に役立つと同時に、作物の生育・成長を助ける有益な微生物類が沢山発生すること事例です。

一例として

キュウリ栽培のハウスに線虫が繁殖して困っている所へ、育成光線水を使うようになったら、線虫が消えて、替りに放線菌が沢山繁殖してきた、結果としてキュウリの栽培が安心して出来るようになった。又、枝豆の畑では根粒菌が沢山発生して、豆の収穫量が 2 倍以上になった。熊本県では小麦の収穫量が 2 倍になった、等々土壌や収穫量含めて農業への有効な報告がありました。 (2005 年 11 月 3 日出版 ミクロの決定圏より)

この事例はただの偶然ではなく、大自然界の法則で、マイナスイオンの環境にすることで、プラスイオンを帯電する病害虫は活動が止まり、自然発生的に作物に有効な微生物類が発生して、作物の生育を助ける。これは正に自然界の大法則そのものです。

参考動画

* YouTube 【ビックリ現象！】マイナスイオン効果で植物の病害虫防除 キセキの水

4.【育成光線放射装置・氣施氣の原理と効果について】

この装置は太陽からの遠赤外線波長の領域の内、特に 4～14 ミクロン領域の波長を育成光線と呼んでいます。その育成光線を無尽蔵に放射し続ける装置です。

この育成光線波長は作物の成長を促進し、品質向上をさせる特徴があります。

又、この育成光線は太陽赤外光であると同時に、{超微細振動エネルギー体であり、その振動数はなんと一秒間に 100 兆回とも言われています。}

* 1981 年アメリカ NASA の研究発表による

育成光線を水に作用させると、水は超微細な水分子 (0.276nm) になり活性化します。そして作物の細胞膜を通りやすくなるため、当然のように作物の成長が促進されます。結果として品質が向上する効果が得られることになります。

尚、超微細になった水は当然のこととして、**マイナスイオンを帯電したマイナスイオン水**になります。この超微細で、マイナスイオンを帯電する水の利用範囲は無限にあると考えられ、今後各方面での利用が期待されるところです。この装置**（氣施氣）**の特徴として、どこでも、誰でも、簡単に取り付け、使用する事が出来て効果ある事です。装置は、原則として水道管にセットするか、ホースを通して使用します。大きさ（太さ）は管のサイズに合わせるのが基本です。そして装置**（氣施氣）**の大小に関係なく、同じ効果が出ます。装置は水を使うことで起きる様々な問題を解決出来ると考えております。

特に食品加工工場等においては、水の取り入れ口（メーターbox の内側）に一台セットするだけで、工場内全体で効果を発揮してくれます。

具体的には食味の向上や品質を安定させることが可能であり、加工場内の衛生管理にも効果があり、ある店舗ではゴキブリが発生しなくなったという実例があります。

また排水溝、排水管の汚れ等が少なくなりますので、管理費の削減が期待できます。このような効果が期待できるのは、水分子が 0.276nm というごく超微細な粒子の水だからです。水分子を 0.276nm、一秒間に 100 兆回という超微細振動エネルギーを出せる装置は、他には存在しません!!

* 今回は農業面での使い方についてご案内します。

<蔬菜類への使い方について>

* 種子を撒く前に、袋のまま**氣施氣水**に 1～2 時間程度浮かべて下さい。（超微細振動エネルギーを種子に転写される事で、DNA が活発になり、発芽後の生育が安定します。

* この作業が基本中の基本で、今後の発芽や生育に大きく影響します。

* この作業をすることで作物は安定して生育すると同時に、一段と品質の向上が可能になります。育苗中に使用する水は当然ながら**氣施氣水**です。

- * 播種又は定植が終わりましたら、育成光線水（氣施氣水）を株元に散水して下さい。
- * 土壤に散水（薬剤散布の要領で）する事で、土壤をマイナスイオン環境にすることになり、プラスイオンを帯電する病害虫の発生が抑えられると同時に、有用微生物類の繁殖が旺盛になり、結果として作物の生育が良くなります。
- * 病害虫の発生が予想されるときは育成光線水（氣施氣水）を散布することで、プラスイオンを帯電している病害虫類は死滅するか、寄り付かなくなるので（減農薬栽培、無農薬栽培）が可能になります。又、作物を守り育てる有用菌類は、マイナスイオンの環境で旺盛に活動が行われることになります。

結論として、育成光線水（氣施氣水）は作物の生育を助け、土壤中の有効微生物群の活動を旺盛にし、土壤改良効果があると云う事です。この事は全作物の土壤に共通な認識です。

<水稻への使い方について>

- ① 種籾を育成光線水（氣施氣水）で浸漬する。
- ② 苗代でも育成光線水（氣施氣水）で散水する。
- ③ 田んぼでは取水口に装置を置く事で、圃場の水が育成光線水（氣施氣水）になります。
- ④ 薬剤散布の時は育成光線水（氣施氣水）で行う。（減農薬が可能、ダブル効果です）

<果樹類への使い方について>

果樹類については全般的な作業として説明します。

果樹類は季節的に発芽、開花、結実、収穫と期間が比較的長いものが多いので、その為、発芽時期、開花後中心に適宜散水する事が必要です。又、病害虫の発生が予想されるときも育成光線水（氣施氣水）を散布することで予防が出来ます。

収穫後には樹勢維持のために散水することをお勧めします。又圃場の微生物類を活性化させる目的で、土壤へ適宜氣施氣水の散水をお勧めします。

ミカンその他の柑橘類に言えることは、開花時期に樹全体へ育成光線水（氣施氣水）を散布しておくと結実後 2~3 センチの大きさになったときの酸味が強くなります。結果として収穫期には美味しい柑橘類ができます。

<きのこ類への使い方について>

- * 椎茸の原木栽培においては以下の通りです。

種菌を原木に入れる前に、種菌をビニール袋に入れた状態で育成光線水（氣施氣水）に 30 分程度置くことで菌が活性化します。

原木の浸漬作業も育成光線水（氣施氣水）で行って下さい。この作業をするだけで品質の

良質なきのこが沢山生産できます。

* 菌床栽培の場合

最大のポイントは菌床を作る時の水分調整に育成光線水（氣施氣水）を使うことです。マイナスイオン効果で、雑菌の繁殖を抑える事ができると同時にきのこは元気に育ちます。そして食味も向上し高品質のきのこが沢山発生します。

* * 結論として

それぞれの作業について説明しましたが使い方は簡単です。強いて申し上げるならば、装置から放射される育成光線（一秒間に 100 兆回と言われる超微弱振動エネルギー体）を水に作用させその水を利用することで、全ての作物の生育は良くなります。

世の中には、何とか農法と言われるものが沢山あります。

そこに育成光線放射装置を使うことで、より一層良い作物の生産を可能にしてくれます。

作物に水が必要なのは当然な事で、活性化した超微小（0.276nm）の水分子だからこそ、作物の生育を安定させ、品質の向上を可能にする効果があるわけです。

最近、全国的に、カメムシ類が大繁殖で、各地で被害が出ております。カメムシに限らず、アブラムシ、ヨトウムシ等々、色々な病気が多発し次から次へと被害が出ております。何故か？専門家たちは一口に、異常気象だ、温暖化の為だと言っているようです。

この変化する環境の中でどうやって作物を守り育てるか？確たる対策は何もありません。

そこで一つの提案です。作物の生育環境を改善することです。

* 具体的な方法としては以下のように考えております。

今日の状態は、異常気象だ、温暖化だと、言われますが、作物にとって一番大事なことが忘れられています。育成光線の研究をしているうちに、多くの微生物類はプラス、マイナス、それぞれのイオン環境のもとで、生きたり死んだりすることが判りました。

そこで作物の周辺環境、即ちイオン環境を改善することが出来れば、安全に作物の生産が出来るのでは？これは農業にとって新しい視点での考え方です。

更に、過去の使用事例を調べてみたところ、納得出来る結果がありました。

このことから今後の農業の問題を考える上で、イオンの問題は欠かすことのできない大変重要ポイントになると考えております。

その意味において考えると、最近の環境はプラスイオンが若干過剰なのではないか？

作物に害を与える病虫害類は、ほとんどプラスイオンを帯電して生きています。

そこにマイナスイオンの環境にすると死滅するか、環境を移動することが判りました。

マイナスイオンの環境が出来ると、作物の生育を助ける微生物類の繁殖が旺盛になり、良い

農作物の生産が可能になります。(放線菌、根粒菌類は顕著です)

大別すると病害虫類はプラスイオンを帯電している、作物を育て微生物類はマイナスイオンを帯電して生きていると考えられます。

以上の内容から育成光線放射装置・**氣施氣**についてまとめます。

育成光線は 4~14 ミクロン領域の波長帯であり、同時に一秒間に百兆回の超微細振動エネルギー体であり、水が装置の中を通過すると、瞬時に微小分子(0.276nm)で活性化した水になります。そして超微小分子の水は同時にマイナスイオン水となり、このマイナスイオン水を使うと、以下のような効果があります。結論としてこれからの日本農業を活性化させる優れた農業資材と言えます!!

① 作物の病害虫対策になる。(減農薬、無農薬栽培)

② 作物の生育が良くなる ③ 作物の品質が向上する。 ④ 資材費が削減出来る。

最後に、たかが水で?と思われるかも知れませんが、水を活性化し瞬時に 0.276nm (植物の細胞膜に浸透する水)に出来るのは育成光線放射装置・**氣施氣**のみと自負しております。尚、この装置は、持ち運び可能、メンテナンス不要で、半永久的に使用が可能です。

✳育成光線放射装置とは即ち『育成光線水生成器・**氣施氣**』のことです。

令和 7 年 11 月 22 日

研究開発者 石井 賢司
東京都武蔵村山市在住
携帯：090-3108-2441

製造・発売 株式会社エコ・サッポロ
代表取締役 高橋 優
〒065-0031 札幌市東区北 31 条東 16 丁目 2 番 18 号
T.011-206-6606 F.011-206-6626
携帯：080-6092-3535
<http://eco-sapporo.co.jp>
北海道農業ジャーナリスト

5. 【氣施氣は農家の皆さんを生産の原点から応援します】

* 育成光線水生成器・氣施氣 が農業生産に与える効果について *

育成光線水生成器・氣施氣は、太陽から放射されている遠赤外線の中でも、4～14 ミクロン領域の波長帯を集中して放射できる装置として開発しております。

この育成光線と呼ばれている波長は、読んで字の如くで地球上の生物にとっては大変重要な波長帯で、この育成光線のお陰で、生命が維持されているといわれております。

又、地球は水の惑星と言われている通りで、あらゆる生物は水がなくては生きてゆくことが出来ません。水はすべての物の原点です。

今回、この水（水分）を機能水にする装置を開発するに到りました。

その装置の名前が 育成光線水生成器・氣施氣 です。

この氣施氣から放射された育成光線を水に作用させることで水分子の振動が瞬時に活発になり機能化された水になります。この水を育成光線水と呼んでおります。育成光線水は全ての農作物の生育において、あらゆる面で好結果をもたらします。

例えば、種の段階から育成光線水を使いますと、発芽率が良くなり根の張りが格段に良くなり、沢山の根の発生が確認できます。このことはその後の作物の生育にとって大変重要なことで、作物が順調に育つ為の基礎がしつかりと出来上がることになります。その結果として収穫量も多くなり品質も安定します。

収穫された作物の特徴としては大変日持ちが良くなります（鮮度保持）。これは細胞内での保水力が高まるためで、当然ながら美味しい作物が出来ることになります。又、特筆すべきは葉物の野菜類に含まれる硝酸態窒素（発がん物質）が少なくなります。

お米ではアミノ酪酸（ギャバ）が大幅に多くなります。このような現象は作物全般に言えることです。

次に最近話題になっていることから氣施氣との関係についてお知らせします。

水は、氣施氣から放射された育成光線により瞬時に機能化され、同時にマイナスイオンを帯電してマイナスイオン水になっています。このマイナスイオン水がなんと病害虫の防除にも効果があるということが最近になって解って来ました。

この事柄について某企業が既に研究を進めており、その内容とは以下の通りです

タイトルは「マイナスイオンは救世主？」 ゴキブリをはじめダニも白アリもプラスイオンに帯電しているので、マイナスイオンの中では死んでしまうとの内容でした。

先日、お取引先の都内某スーパーマーケットの会長様との会談で、『あれを店に設置してから、水も良くなったし、ゴキブリが出なくなったよ!!』

この言葉は寝耳に水の驚きでした。そこで色々調べてみたら、先ほどの企業の研究と符号することが判りました。(会長様のあれとは **氣施氣** のことです)

(この文章は既に p.4 で記述しております)

そこで過去の導入事例を調べてみたら、参考になる良い事例が在りました。
キュウリを栽培しているハウスでは、線虫が繁殖して困っていたが、装置を付けてから線虫が発生しなくなり、代わりに放線菌が繁殖増加して、その後の栽培が安心して出来ている。又、枝豆を作っている農家では豆を育てる根粒菌が沢山増えて収穫量が倍増した。どちらも育成光線水(マイナスイオン水)の成果です。

この事例から判るとおり、自然界は正にプラスイオン(陽イオン)とマイナスイオン(負イオン)の関係が大きく関係していることがよく判りました。その為、農業経営にとってこのことを知るか知らないかでは生産性が大きく左右されことになります。
又、資材購入費の面で見ても大きな差が出る事が考えられます。
以上のようなことからこれからの農業経営にとって **育成光線水生成器・氣施氣** は大いに役立つ、唯一無二の装置(最先端技術)と考えております。

最高なことは、一切の事実は既に理論であることを理解することであろう。
現象の後に ものを求めようとするな。現象そのものが学理なのだ。

ゲーテ

(研究開発・石井 賢司様 寄稿)

〒065-0031

札幌市東区北 31 条東 16 丁目 2 番 18 号

株式会社エコ・サッポロ

代表取締役 高橋 優

T.011 (206) 6606 F.011 (206) 6626

北海道農業ジャーナリスト

【育成光線水生成器・氣施氣(20型・25型・50型・ミニ) 取扱いについて】

この度は育成光線水生成器・氣施氣をご購入いただき誠にありがとうございます。

＜特徴・仕様＞

氣施氣にはすべてシリアル番号がございます、これにより本製品として登録されております。

日本製、安全素材使用、半永久使用が可能です。

ランニングコストは永久に0円です。

持ち運び簡単、取付け簡単、誰でも出来ます。

他のエネルギーは一切必要ありません。

時間経過で育成光線エネルギーが減少することはありません。

最高級ステンレスSUS304を使用しております、錆などの劣化はありません。

サイズは変更が可能です、配管やカランに合わせて（事前にサイズ計測が必要）製造致します。

受注生産の部分がありますのでお早めにご相談願います。

商標登録（2アイテム）取得済み。

注・磁石や電気分解による類のものとは全く異なります。ご注意下さい。

＜使用方法＞

配管並びにカランに挟み込む（巻き込む）ようにセットします。

セットは左右の端がキチンと接触していることが大事です（浮いていてはダメ）。

専用バンドを締めてセット完了です（移動使用が多い場合は結束バンドなどをお勧めします）

セット後は普段通りに使用するだけで育成光線水が出できます。

* ホースやカランと設置した氣施氣に隙間ができる場合がありますが全く問題ありません、フキン等で厚み調整して下さい。

使用時間（連続）や流量にエネルギー問題（大小）はありません。

直接水に触れることは基本的にありません。

安全なエネルギーですから、飛行機内へ持ち込みも可能です（手荷物検査は問題なく通過できます）。

簡単に壊れることはありませんが、下記行為は禁止です。

注・ハンマーや硬い石などで叩くことはやめて下さい（乱暴取扱い）

注・熱油への投入は止めて下さい（危険行為）

問題などは販売窓口へご相談下さい。 皆様の末長いご使用を願っております。

H P www.eco-sapporo.co.jp を是非ともご覧ください

(株)エコ・サッポロ

育成光線水生成器・氣施氣(きせき)価格表

R8.1.1

型式・形状	外径（内径）『内径』	外周	重量(g)	金額（税抜）
氣施氣20型	63×（27）×H150 ^{ミリ}	223 ^{ミリ}	730	130,000
正六角	M.71 ^{ミリ}			
業務用				
適合資材	V P－20、ビニールホース			
氣施氣25型	63×（32）×H200 ^{ミリ}	223 ^{ミリ}	860	150,000
正六角	M.71 ^{ミリ}			
業務用				
適合資材	V P－25			
氣施氣50型	97×（61）×H200 ^{ミリ}	350 ^{ミリ}	1,570	300,000
正六角	M.111 ^{ミリ}			
業務用				
適合資材	V P－50			
氣施氣ミニ	60×『35×25』×H100 ^{ミリ}	190 ^{ミリ}	360	80,000
外・丸 内・四角				
家庭用	カラン、ビニールホース			
マンション用				

* カラン、塩ビ管などを両外側から挟み込んで使用するため、管の太さが氣施氣の内径に該当します。

* 既成品以外は特注品（サイズ）になりますが、割安価格で制作致します。

その際は事前に取付配管サイズや取付場所の確認が重要です。

* 電気やガスなど他のエネルギーは一切必要ありません。

* 価格は世情に応じて変動する場合がございます。

* 弊社HPにも同様のご案内をしております。

〒065-0031

北海道札幌市東区北31条東16丁目2番18号

株式会社エコ・サッポロ

代表取締役 高橋 優

011 (206) 6606

fax 011 (206) 6626

<http://www.eco-sapporo.co.jp>